

3. 8 石井街道沿線におけるMM施策の継続性調査について

(1) MM施策の継続性調査実施内容

MM実施効果測定には、「事前調査」として普段の交通行動を調査し、MM実施から約1ヵ月後に「事後調査」により、被験者の交通行動の変化を数量的に示している。

しかし、MM施策の効果測定は短期的に留まるものが多く、MM実施による公共交通に対する意識が変わり、公共交通の利用が増えたとしても、一時的な公共交通の利用になってしまうことがあります。そのため、公共交通に対する意識を長期的に持ち続けていただくため、過去に実施したMM施策対象者に継続調査にご協力いただき、MM実施効果の経年変化を調査しました。

なお、調査対象は平成18年度から継続的に調査を実施している「石井街道沿線地域」を対象として実施しました。

1) 過年度のMM施策の実施方法

過年度に実施したMM施策は、本年度のMM施策と同様に「事前アンケート」「動機付け資料の送付」「事後アンケート」を順に送付している。

2) 継続性調査について

過去の調査と今回実施した継続性調査の概要を図表15-1に示す。なお、「事前調査」、「事後調査（MM実施1ヵ月後）」、「継続調査（MM実施1年後）」、「継続調査（MM実施3年後）」の実施段階をそれぞれWave1～4と定義する。また、今回の継続性調査（Wave4）ではアンケート調査票とともに、今後も継続的に公共交通を利用していただくために、最新版の統合型時刻表を同封した。

図表 15-1 継続性調査概要

調査段階	調査対象	調査方法	回収期間	回収/発送数	回収率
Wave1	石井街道(国道123号)沿線	自治会経由配布・郵送回収	2006年10/10～10/20	1274/3106	41.0%
Wave2 (1ヵ月後)	Wave1 住所記載者	郵送配布・郵送回収	2006年12/11～12/25	568/908	62.6%
Wave3 (1年後)	Wave2 回答者	郵送配布・郵送回収	2007年10/24～11/5	402/487	82.5%
Wave4 (3年後)	Wave3 回答者	郵送配布・郵送回収	2009年10/28～11/13	348/402	86.1%

(2) 継続性調査結果

① 交通行動に対する意識変容について

自動車に対する意識

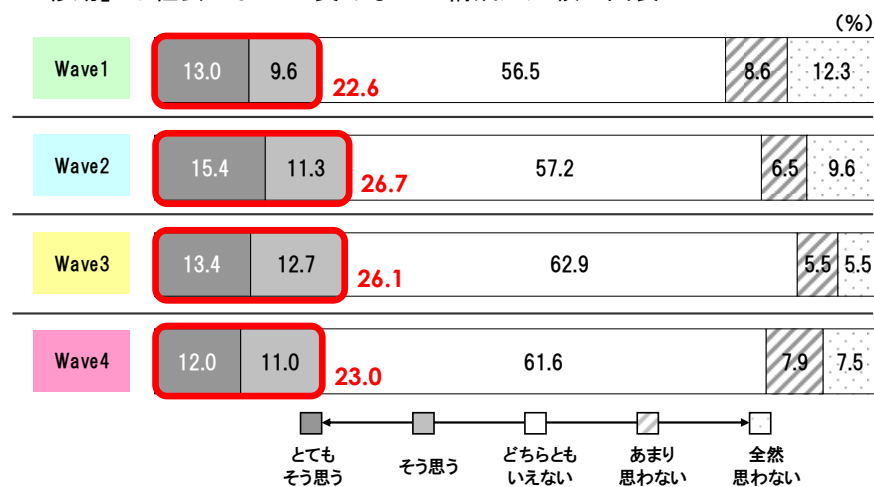
■ 【継続性調査】「クルマでの移動」は社会にとって良くない

石井街道

Wave4 問1

「クルマでの移動は社会にとって良くない」と思う割合（【とてもそう思う】【そう思う】の合計）は、Wave1～4でそれぞれ23%、27%、26%、23%と、意識低下の傾向が見られ、MM実施による意識変容の効果が、経年とともに薄くなっているものと考えられる。

＜「クルマでの移動」は社会によって良くない：構成比比較・図表 16-1＞



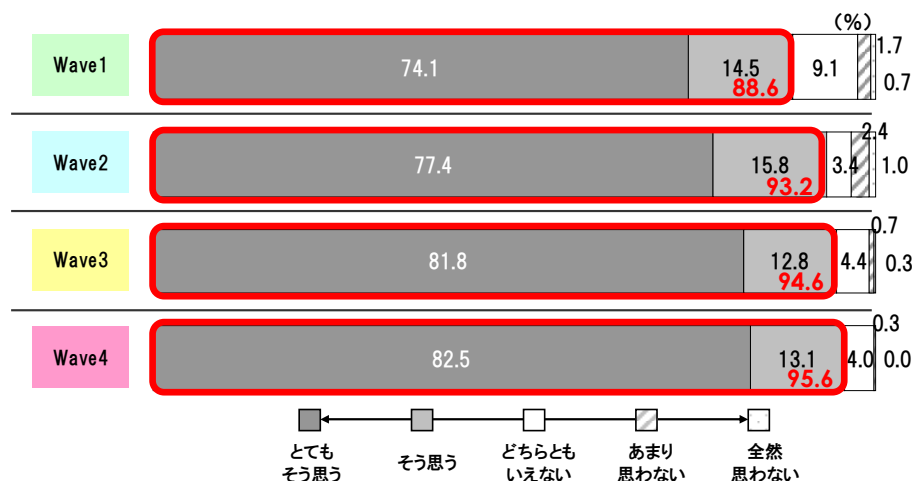
バスの必要意識

■ 【継続性調査】バスは必要である

Wave4 問1

「バスは必要である」と思う割合（【とてもそう思う】【そう思う】の合計）は、経年とともに増加しており、MM実施による意識向上効果によるものと考えられ、「バスの必要意識」は少なくとも3年間は継続しているものと考えられる。

＜バスは必要である：構成比比較・図表 16-2＞



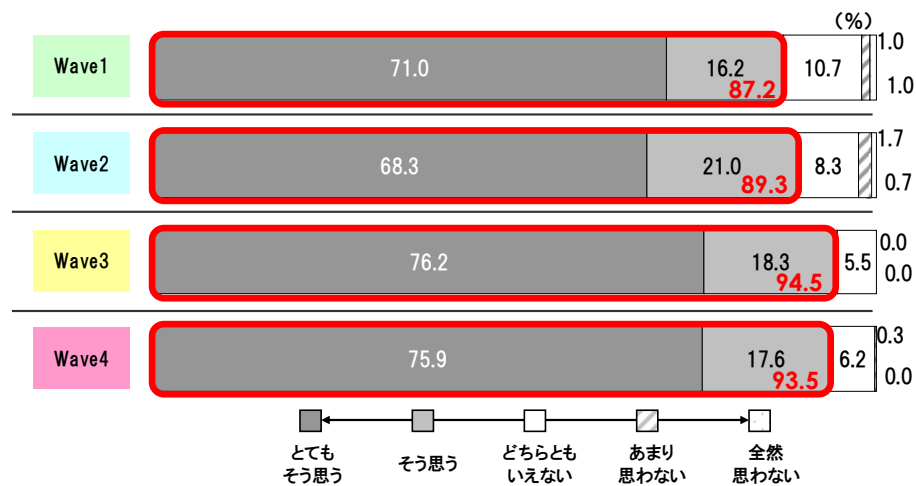
公共交通の維持協力意識

■【継続性調査】公共交通の維持に協力したい

Wave4 問1

「公共交通の維持に協力したい」と思う割合（【とてもそう思う】【そう思う】の合計）は、Wave1～4でそれぞれ87%、89%、95%、94%となっており、「公共交通の維持協力」に対する意識が高いことがわかる。

〈公共交通の維持に協力したい：構成比比較・図表 16-3〉



②交通行動変容について

バス利用の交通行動変容

■【継続性調査】 去年と現在のバス利用日数の変化について

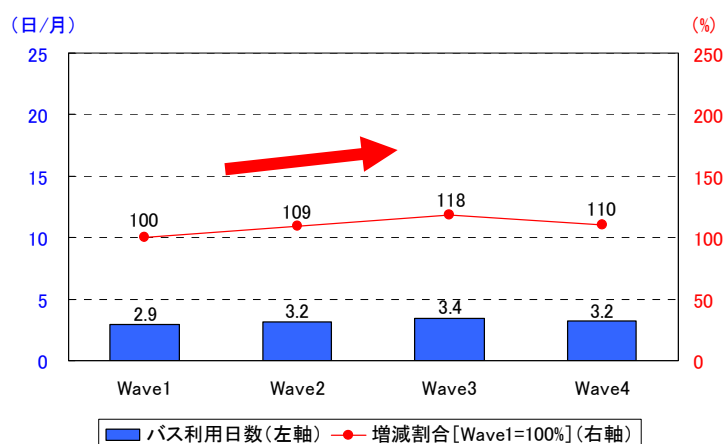
石井街道

Wave4 問2

バス利用日数はMM実施後に1~2割程度の増加が見られた。各調査段階で最もバス利用日数が多かったものはWave3である。

Wave4においては、若干減少したが、依然としてWave1よりも高い水準にあり、マイカー利用者意識転換策の効果が継続していると推測される。

〈バス利用状況比較：図表 16-4〉



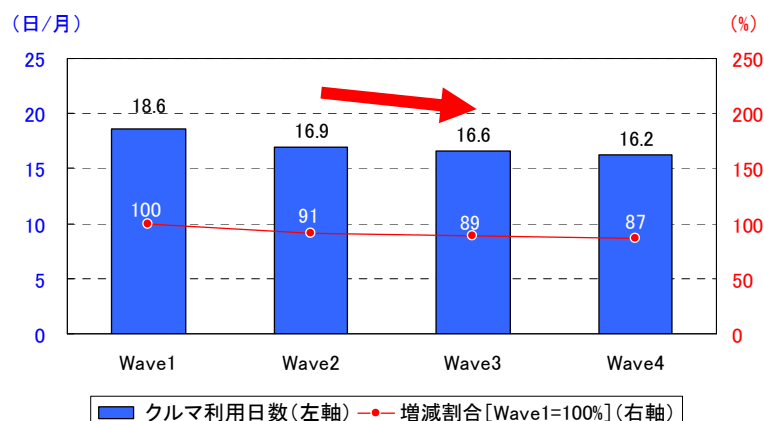
クルマ利用の交通行動変容

■【継続性調査】 去年と現在のクルマ利用状況について

Wave4 問2

クルマ利用日数はMM実施後に1割程度の減少が見られ、さらに経年とともに減少していることから、MM実施によるクルマ利用抑制効果は、MM実施から3年が経過しても継続しているものと考えられる。

〈クルマ利用状況比較：図表 16-5〉



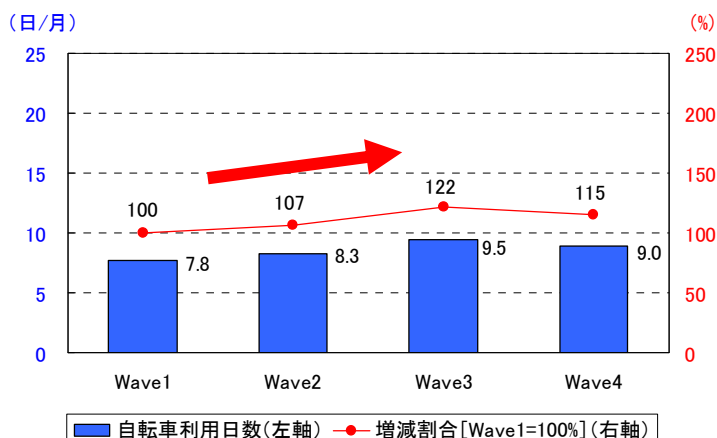
自転車利用の交通行動変容

■【継続性調査】 去年と現在の自転車利用状況について

Wave4 問2

自転車利用日数はMM実施後に1~2割程度の増加となっており、自動車利用からバス利用への転換を主な目的として実施したMM施策が、自動車利用の抑制により自転車利用の転換にもつながったものと考えられる。

<自転車利用状況比較：図表 16-6>



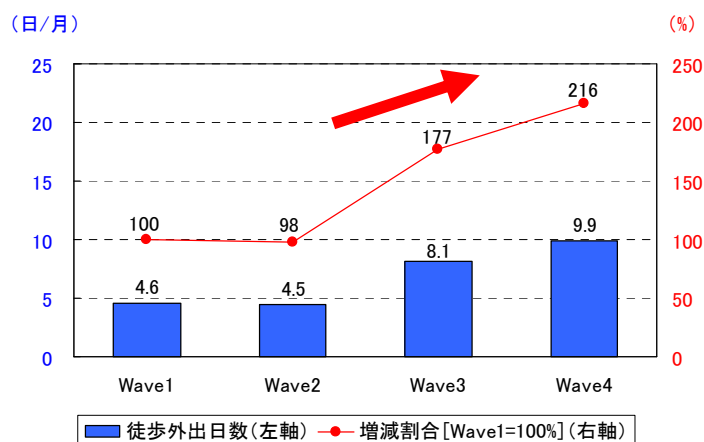
徒歩利用の交通行動変容

■【継続性調査】 去年と現在の徒歩による外出状況について

Wave4 問2

徒歩による外出日数は、Wave1とWave2では同程度となった一方、Wave3、4ではWave1の2倍近くの水準まで増加している。Wave2がWave1と同程度になったことについては、調査時期が12月中旬であったことから、徒歩による外出が控えられたためと考えられる。

<徒歩による外出状況比較：図表 16-7>



③バス利用継続意向について

バス利用継続意向

■【継続性調査】現在のバス利用回数の継続性について

石井街道

Wave4 問3

「現在のバス利用回数の継続性」について、【継続できる】【どちらかといえば継続できる】の合計は、全体の約7割となっており今後も継続してバスを利用する意向を示している。こうしたことからMM実施から3年が経過しても、MM実施によるバス利用促進効果が持続する傾向にあると考えられる。

〈現在のバス利用回数の継続性について：図表 16-8〉

